

みはら再発見 わたしのまちのふるさと大使

市の情報発信や産業・観光などの振興のため、市にゆかりのある14人と1組に「三原市ふるさと大使」を委嘱しています。

最終ページでは、三原市ふるさと大使の皆さんの三原の好きなおところや思い出などを紹介します。

観光課 ☎0848・67・6015

三原の魅力を世界に発信しよう

(木川真さんの直筆メッセージ)



ヤマトホールディングス株式会社
取締役会長 木川 真さん

尾道市向島町出身。幼少期を三原で過ごす。広島大学附属三原小学校を卒業後、同中学校に進学。3年生の時に東京へ転出する。「多感な時代を過ごした三原の思い出は尽きません」とコメントしてくださっています。

「三原を全国にアピールしています」

「今後の抱負はありますか。」

「三原のおいしい農産物や水産物などの販路を、世界とりわけアジアに広げるためのプロジェクトを、広島県を巻き込んで進めたいですね」

「思い出の場所はどこですか。」

「中学生の頃まで住んでいた、糸崎にあった三菱重工の社宅周辺です。そして、その裏山の中腹にあった尼寺。もう社宅も尼寺もなくなりましたが、今でも昭和30年代の多感な幼少期に遊び回った里山の風景を懐かしく思い出します」

「三原市の誇れるところを教えてください。」

「三原城の築城から450年を超える歴史と文化、そして豊かな自然です。陸・海・空の交通

の要衝としての便利さと、目の前に広がる美しい海と里山の風景が同居している三原。『日常』と『非日常』が背中合わせになっているのが、とても魅力的です」

「三原市ふるさと大使としてどのような活動をされていますか。」

「市と連携協定を結び、観光振興などの地域活性化や市民サービスの向上に向けたお手伝いをしています。その一環で、やささだるマンと特産のタコをデザインした宅急便のご当地ボックスを作り、その配達を通じて



私の好きな風景

桜の花が満開の筆影山の山頂。瀬戸内随一の多島美とお花見が同時に楽しめる、本当にぜいたくな場所です。



▲お花見シーズンには夜桜のライトアップが行われます

三原市の人口 (4月30日現在)
※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

世帯数	43,812 世帯 (-249)
人口	95,013 人 (-1,361)
男	45,495 人 (-724)
女	49,518 人 (-637)

人口移動の詳細については
広島県 人口移動 月報 で検索

税などの納期 (普通徴収)

○市県民税 (第1期)
納期限 7月2日(月)まで

夜間収納窓口 (19時まで)
毎週木曜日

航空機の騒音測定結果(4月分)(Lden)

▶正広局(本郷町善入寺正広)=51.2
▶本郷局(本郷町船木川西上)=53.3

あ・と・が・き
メジャーリーグに移籍し、4月のアメリカンリーグの月間最優秀新人に輝いた大谷翔平選手。プロの世界では難しいといわれていた投手と打者の二刀流に挑戦し続け、結果を残す姿は人々を魅了しています。今月号の若者×情熱のコーナーで紹介したバレエの向井さんのように、市内にもさまざまな分野で挑戦を続ける人がいます。取材で受けた刺激を糧に、身近で分かりやすい広報誌作りへの挑戦を続けたいと思います(F)

平成30(2018)年6月号
第159号 毎月1日発行
編集・発行／三原市秘書広報課

〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号
秘書広報課 ☎0848・67・6007
市ホームページ <http://www.city.mihara.hiroshima.jp/>

再生紙と大豆インクを使用しています。
点字版や録音テープ・CDも発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。